

FY2025.06 Financial Report

SOCIAL DESIGN INNOVATOR



NiX JAPAN グループ株式会社

東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号
TEL 03-6802-8876
富山本社 〒930-0857 富山県富山市奥田新町1番23号
TEL 076-464-6520



<https://nix-japan-group.co.jp>

NIX JAPAN GROUP



<https://nix-japan.co.jp>

NIX JAPAN

2026年1月



ご挨拶

日頃より、NiX JAPAN株式会社ならびにNiX JAPANグループ各社に、温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここにFY2025.06(2024年7月1日～2025年6月30日)の決算および事業概要についてご報告申し上げます。

この一年、社会や技術の変化が加速する中、当グループは中期経営計画のテーマ「X DAYS」のもと、「iNFRA TEC × Ai TEC」を通じて新たな挑戦と価値創造を進めてまいりました。

そしてこのたび、さらなる成長と変化への柔軟な対応を目指し、グループ全体の経営を統括する持株会社「NiX JAPANグループ株式会社」を設立し、新たな経営体制を本格的にスタートいたしました。

これからも、一人ひとりの技術力と共感力を原動力に、社会の持続的な発展に貢献してまいります。今後とも、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



2026年1月

NiX JAPANグループ株式会社 代表取締役社長

NiX JAPAN株式会社 代表取締役社長

市森 友明

CONTENTS

NiX JAPANグループ	決算ハイライト	01
NiX JAPAN	決算ハイライト	02
NiX JAPANグループ	中期経営計画、ホールディングス化について	03
NiX JAPANグループ	ニュース&トピックス	05
NiX JAPANグループ	会社情報	07
NiX JAPAN	会社情報	09
NiX JAPAN	実績紹介	11

NiX JAPANグループ連結の業績

FY2025.06期においてNiX JAPANグループは、NiX JAPAN株式会社を中心とするインフラ技術サービス事業の安定した売上基盤に加え、DXサービス事業およびエネルギー事業・海外事業の着実な成長により、グループ連結売上高100.2億円と、初めて100億円の大台を突破しました。収益面では、DXサービス事業の大幅な利益改善が寄与し、営業利益は前期比90.9%増の10.5億円、EBITDAは前期比55.7%増の14.8億円と大きく伸長しました。

一方で、グループ全体で円高における為替差損3.2億円の計上により、当期純利益は前期比7.6%増の4.2億円にとどまりました。

NiX JAPANグループは、グループ全体の経営統括機能を担う持株会社「NiX JAPANグループ株式会社」の設立を機に、FY2025からスタートする5カ年の中期経営計画を策定しました。短期的な業績拡大にとどまらず、中長期的な持続的成長と社会インフラへの貢献を両立する企業グループを目指し、積極的な戦略投資を推進してまいります。

今後は、インフラ技術サービス事業とDXサービス事業の融合による新たな価値創出を図るとともに、エネルギー事業・海外事業の一層の拡大を通じて、さらなる成長を目指します。

NiX JAPANグループ連結経営成績

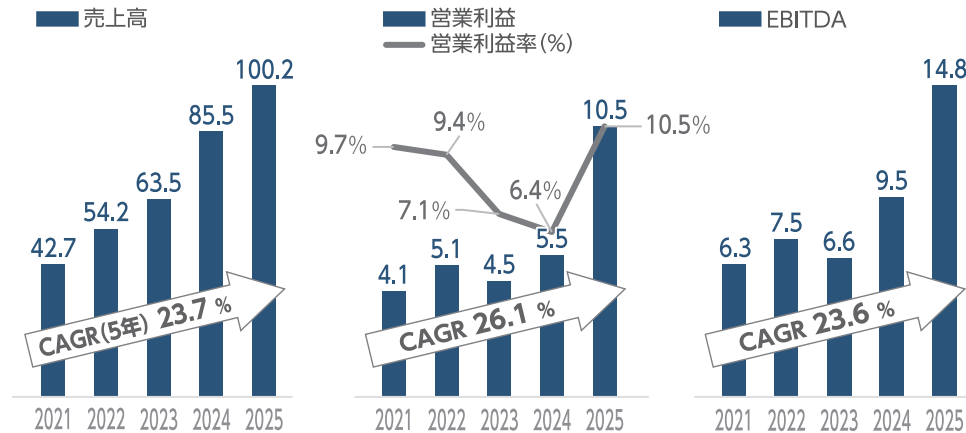
(単位:億円)

	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	YOY増減
売上高	42.7	54.2	63.5	85.5	100.2	17.1%
営業利益	4.1	5.1	4.5	5.5	10.5	90.9%
営業利益率	9.7%	9.4%	7.1%	6.4%	10.5%	4.1pt
経常利益	4.7	11.0	4.7	8.1	6.8	▲16.0%
当期純利益	2.9	7.7	2.6	3.9	4.2	7.6%
EBITDA	6.3	7.5	6.6	9.5	14.8	55.7%

※FY2024よりM&A費用計上、海外事業、のれん償却費等含む
※FY2024よりEBITDAにはのれん償却費含む

NiX JAPANグループ売上高/営業利益・営業利益率(%) / EBITDA

(単位:億円)



NiX JAPANの業績

FY2025.06期におけるNiX JAPAN株式会社の売上高は、震災関連業務の増加も寄与し、前期比18.0%増の51.1億円と過去最高を更新しました。持株会社「NiX JAPANグループ株式会社」設立に伴う資本政策の一環として一部の資産負債を移転した影響もあり、自己資本比率は向上しました。

また、受注面でも受注高が前期比18.5%増と堅調に推移しており、翌期への売上残高も前期と同水準を維持するなど、安定した事業基盤を確立しています。

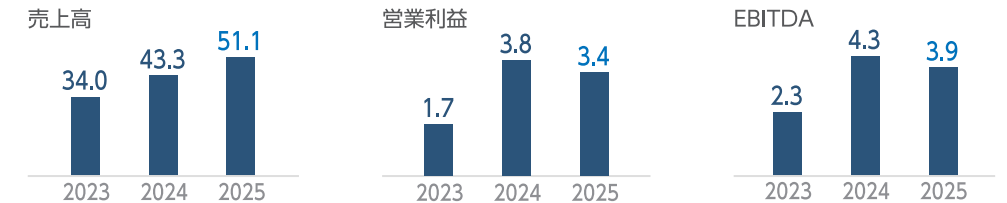
NiX JAPAN収益指標

(単位:億円)

	FY2023	FY2024	FY2025	YOY増減
売上高	34.0	43.3	51.1	18.0%
営業利益	1.7	3.8	3.4	▲10.5%
EBITDA	2.3	4.3	3.9	▲9.3%
純資産利益率(ROE)	21.4%	28.0%	26.5%	▲1.5 pt
総資産利益率(ROA)	9.5%	9.5%	10.5%	1.0 pt
受注高	34.5	45.2	53.6	18.5%
翌期売上残高(進行基準)	16.5	22.6	22.1	▲2.2%

NiX JAPAN経営成績

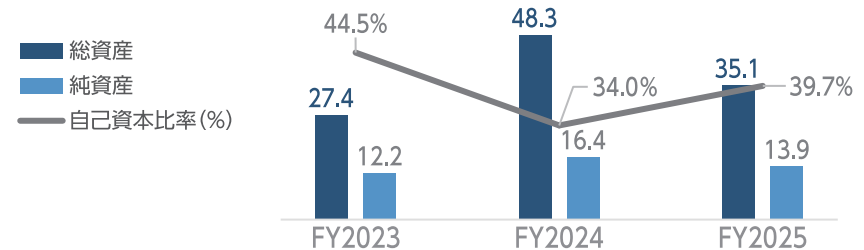
(単位:億円)



NiX JAPAN財務指標

(単位:億円)

	FY2023	FY2024	FY2025	YOY増減
総資産	27.4	48.3	35.1	▲27.3%
純資産	12.2	16.4	13.9	▲15.2%
自己資本比率	44.5%	34.0%	39.7%	5.7 pt



中期経営計画、ホールディングス化について



NiX JAPANグループは、FY2025から始まる5年間の中期経営計画として、「X DAYS」を掲げました。本中期経営計画の推進にあたり、グループ全体の経営機能を統合するために持株会社「NiX JAPANグループ株式会社」を2025年7月より本格稼働し、それぞれの会社がもつ技術や強みを結集させ、グループとしての挑戦をよりスピーディに、そして力強く進めていきます。

新たな体制のもと、3つの成長戦略を推進し、売上高150億円を目指してまいります。

成長戦略 01

iNFRA TEC × Ai TEC による成長

土木技術とIT技術の融合で新たな価値を創出し、社会インフラの共通基盤を構築・提供する存在「次世代型インフラマネジメントプラットフォーマー」を目指します。

- BIM/CIMの活用でインフラ管理の高度化を推進
- 分散したDXサービスを統合し、総合的なソリューションの提供へ

成長戦略 02

エネルギー事業 × 海外事業 の成長

国内で蓄積したエネルギー事業のノウハウをもとに、インドネシアにおいて水力発電所を開発し、収益性を拡大。インドネシアでの実績をもとにLPG事業や投資事業などストック型ビジネスの多角展開を図ってまいりました。今後は海外事業を成長のドライバーとし、更に比重を高めていきます。

成長戦略 03

グループ再編 × 人材投資 による成長

“人”を軸に、人事戦略を強化し、グループ経営の再設計を図り、2025年7月からの持ち株会社 NiX JAPANグループがグループ全体を統括していく体制を構築していきます。

NiX JAPANグループ株式会社



目標とする財務指標 (FY2029連結)	
売上高	150 億円
営業利益	20 億円
当期純利益	13 億円
EBITDA	22 億円



ニュース&トピックス

2024
07富山市スマートシティ推進プロジェクト
創出事業の実証事業に採択

富山市が推進する「富山市スマートシティ推進プロジェクト創出事業」において、当社が提案した「TOYAMAロードパートナー実証事業」が採択されました。

2024
09トンガル水力発電事業がインドネシア国営
開発銀行より2024優良プロジェクトに選出

インドネシアにおいて開発・運営しているトンガル水力発電事業の事業主体である特別目的会社PT. Optima Tirta Energyは、インドネシア国営開発銀行PT. Sarana Multi Infrastruktur Perseroより優良なプロジェクトを実施したとして、約140のプロジェクトの中から8つの優良プロジェクトに選出されました。

2024
10旧白雲楼ホテル河内発電所の水車が
金沢市初の有形文化財登録

NiX JAPANグループの「金沢ゆわく小水力発電所」は、旧白雲楼河内発電所を再生するプロジェクトとして、再生を果たし2022年4月から運転開始しています。「旧白雲楼ホテル河内発電所の水車」が、金沢市の登録文化財に認定されました。

2025
03

健康経営優良法人認定

NiX JAPAN、NiX三喜、セイコー測量、技研コンサルタント、東光測建、親熱電工、昭和設計コンサルタント、NiX CREATE、ヒロエンジニアリング

2025
04

インドネシアEVバイク事業

NiX JAPANグループが資本参画し、インドネシアにおいてBaaS (Battery as a Service) 事業を推進している合併会社のGreen Power Management Pte. Ltd. は、第三者割当増資を実施し、新たに東邦ガス株式会社と株式会社北國フィナンシャルホールディングスの子会社である株式会社QRインベストメントが参画することとなりました。

2025
05

インドネシア 屋根置き太陽光発電事業

インドネシア合併会社であるPT Alam Energy Renewablesを通じて、大日本印刷株式会社 (DNP) のインドネシア法人であるPT DNP Indonesia向けの第二期1.1MW (DC) (出力は第一期、第二期合わせて約2.7MW) 屋根置き太陽光発電所完工、花王株式会社のインドネシア法人であるPT Kao Indonesia向けの、最大出力5.0MWp (DC) の屋根置き太陽光発電設備を完工しました。

2025
06正栄産業株式会社のインドネシア現地法人
PT. Shoei Capital Indonesiaの設立支援
及び投資事業のアドバイザーを実施2025
06日本国内グループ企業の再生可能
エネルギー利用100%目標達成第7回 JAPAN コンストラクション
国際賞受賞

NiX JAPAN株式会社は第7回JAPANコンストラクション国際賞の中堅・中小建設企業部門において、国土交通大臣表彰を受賞いたしました。

インドネシアにおいて自社で開発・運営している水力発電事業の「トンガル水力発電事業」の取組みを評価いただきました。中堅・中小建設企業部門において建設コンサルタント業及び自社事業での受賞は初めての受賞となります。

今後も国内事業で培ったインフラ設計や再生可能エネルギー事業における日本の高品質かつ高効率な優れた技術を、インドネシアを中心とした東南アジア諸国での自社事業に伴い導入・運用することで波及展開していき、エネルギーセキュリティの安定化にも貢献し、海外へのインフラ輸出戦略へ寄与できるよう事業拡大していきます。

正栄産業株式会社のインドネシア現地法人PT. Shoei Capital Indonesia
設立支援及び投資事業のアドバイザーを実施

正栄産業株式会社とNiX JAPANグループのインドネシア現地法人PT. NiX Capital Indonesiaとの間でアドバイザー契約を締結し、インドネシア現地法人PT. Shoei Capital Indonesia (SCI) の設立支援及び同国における投資事業サポートを開始しました。

SCIは第1号案件として、2025年6月に宅地造成住宅デベロッパーであるPT. Indo Graha Lestari (インドネシア) への投資を実施し、宅地造成事業への事業展開を開始いたしました。

EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2024 ジャパン
東海北陸代表、日本大会ファイナリスト

NiX JAPAN株式会社 代表取締役社長 市森友明がEY Japanが主催する「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2024 ジャパン」のファイナリスト (東海・北陸地区代表) として、日本大会に出場し、全国の優れたアントレプレナー10名の皆様とともに、EOY 2024 Japan 受賞者の表彰を受けました。



取締役・執行役員

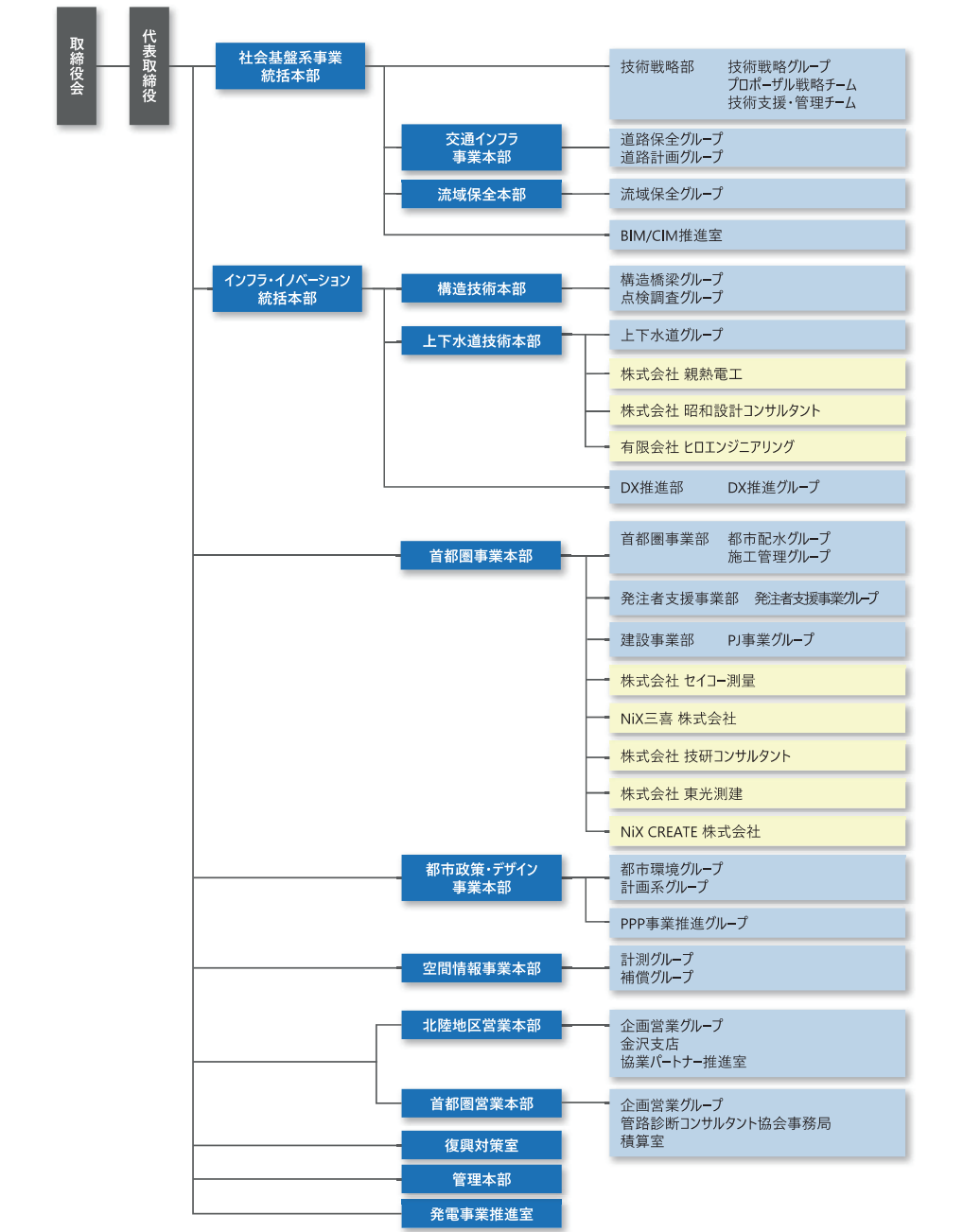
肩書	名前
代表取締役社長	市森 友明 博士 (経営科学) 技術士 総合技術監理部門 (トンネル)、技術士 建設部門 (トンネル)
取締役常務執行役員 社会基盤系事業統括本部 統括本部長	富田 邦裕 博士 (工学) 技術士 総合技術監理部門 (河川、砂防及び海岸)、技術士 総合技術監理部門 (環境保全計画)、技術士 建設部門 (建設環境)、技術士 建設部門 (河川、砂防及び海岸)、技術士 環境部門 (環境保全計画)
取締役執行役員 首都圏事業本部 本部長 兼 首都圏営業本部 本部長	真田 浩幸
取締役執行役員	芳尾 航
取締役執行役員 管理本部 本部長	山田 准司
執行役員 技術戦略部 部長	阿曾 克司 技術士 総合技術監理部門 (土質及び基礎)、技術士 建設部門 (土質及び基礎)、技術士 建設部門 (河川、砂防及び海岸・海洋)
執行役員 北陸地区営業本部 本部長	小坂 由紀夫
執行役員 社会基盤系事業統括本部 交通インフラ事業本部 本部長	和田 英俊 技術士 総合技術監理部門 (道路)、技術士 建設部門 (道路)
執行役員 都市政策・デザイン事業本部 本部長	高橋 敬宗 技術士 建設部門 (都市及び地方計画)、認定都市プランナー
執行役員 社会基盤系事業統括本部 流域保全本部 本部長	升方 祐輔 技術士 建設部門 (河川、砂防及び海岸・海洋)、1 級土木施工管理技士、測量士、第 2 種ダム水路主任技術者
執行役員 インフラ・イノベーション統括本部 上下水道技術本部 本部長	牧田 哲郎 技術士 総合技術管理部門 (下水道)、技術士 上下水道部門 (下水道)、技術士 上下水道部門 (上水道及び工業用 水道)

有資格者一覧

資格等名称		人数
技術士	河川、砂防及び海岸・海洋	10名
	道路	15名
	都市及び地方計画	14名
	土質及び基礎	2名
	鋼構造及びコンクリート	5名
	トンネル	1名
	建設環境	4名
	施工計画、施工設備及び積算	1名
	上下水道部	4名
	下水道	10名
	農業部門 農業土木	4名
	環境部門 環境保全計画	1名
	環境部門 自然環境保全	1名
	森林部門 森林環境	1名
	電気電子部門 電気設備	1名
	総合技術監理部門	15名
	河川、砂防及び海岸・海洋	6名
R C C M	港湾及び空港	2名
	道路	5名
	上水道及び工業用 水道	1名
	下水道	1名
	廃棄物	1名
	土質及び基礎	2名
	鋼構造及びコンクリート	11名
	建設環境	1名
	都市計画及び地方計画	2名
	トンネル	1名
	建設情報	1名
	地質	1名
	電気電子	1名

資格等名称		人数
博士	工学	2名
	学術	1名
	経営科学	1名
	経済科学	1名
一級建築士		5名
		2名
		8名
		24名
二級建築士		10名
		1名
		7名
		6名
		2名
		2名
		5名
		2名
		3名
		3名
コンクリート診断士		10名
		1名
		7名
		6名
		2名
		2名
		5名
		2名
		3名
		3名
道路橋点検士		10名
		1名
		7名
		6名
		2名
		2名
		5名
		2名
		3名
		3名
測量士		35名
		1名
		42名
		7名
		2名
		1名
		6名
		4名
		2名
		5名
土木技術者		2名
		5名
		2名
		1名
		2名
		1名
		2名
		2名
		3名
		1名
農業土木技術管理士		35名
		2名
		5名
		2名
		1名
		2名
		1名
		2名
		2名
		3名
下水道技術検定		2名
		5名
		2名
		1名
		1名
		2名
		1名
		2名
		2名
		3名
情報処理技術者		35名
		1名
		42名
		7名
		2名
		1名
		6名
		4名
		2名
		5名
第2種ダム水路主任技術者		2名
		5名
		2名
		1名
		2名
		1名
		2名
		2名
		3名
		1名

組織図



実績紹介

NiX JAPANが取り組んできた主な実績をご紹介します。各案件で培った知見と実績を基に、今後も高品質なサービス提供に努めてまいります。

FY2025.06	第47期 完成業務 492件、取引先 180団体
	第47期 受注業務 438件、取引先 171団体

道路及び橋梁計画設計

- ・国道2号他交通事故対策設計他業務(国土交通省大阪国道事務所)
- ・249号輪島地区道路詳細設計その1業務(国土交通省能登復興事務所)
- ・法音寺電線共同溝詳細設計業務(国土交通省高田河川国道事務所)
- ・BIM/CIMIにおける3次元モデルと図面の効果的な活用に向けた検討業務(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- ・大野油坂道路(下唯野地区)他設計積算資料整理業務(国土交通省福井河川国道事務所)
- ・館山自動車道浜野橋耐震補強設計検討業務(東日本高速道路株)
- ・土木特定施設長寿命化修繕計画更新業務(東京都江戸川区)
- ・枇杷島橋修正設計業務(その2)(愛知県名古屋市)



館山自動車道浜野橋
耐震補強設計検討業務

スポーツ施設及び緑地・造成計画

- ・所沢航空記念公園スケートパーク基本構想検討業務(埼玉県都市整備部)
- ・御坊市スケートパーク整備基本計画策定業務(和歌山県御坊市)
- ・奥びわスポーツの森改築設計業務(滋賀県土木交通部)
- ・公園リニューアル計画モデル公園設計業務(埼玉県戸田市)
- ・上野恩賜公園夜間景観整備実施設計(東京都建設局)
- ・旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業物流地区実施設計業務(神奈川県横浜市)
- ・富山県宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく基礎調査業務(富山県土木部)

上下水道計画設計

- ・加古川上流流域下水道健全度評価・改築計画改定業務(兵庫県加東土木事務所)
- ・富山公共下水道大沢野処理区未整備地区整備検討業務(富山県富山市)
- ・鴻巣市下水道事業経営戦略更新業務(埼玉県鴻巣市)
- ・金沢市雨水出水浸水想定区域図作成業務(石川県金沢市)
- ・村田雨水ポンプ場耐震補強実施設計業務(千葉県千葉市)
- ・西部工業用水道事発注者支援業務(富山県企業局)



村田雨水ポンプ場
耐震補強実施設計業務

河川砂防及び港湾計画設計

- ・荒川上流水門設備改良詳細設計業務(国土交通省荒川上流河川事務所)
- ・浜町陸間ゲート設備等更新設計業務(国土交通省霞ヶ浦河川事務所)
- ・多自然川づくり技術支援ツール作成検討業務(国土交通省国土技術政策総合研究所)
- ・上庄川河川災害復旧護岸工設計業務(富山県氷見土木事務所)
- ・北淡海岸富島地区離岸堤詳細設計業務(兵庫県洲本土木事務所)
- ・小矢部川水系大井川外洪水浸水想定区域図作成業務(富山県土木部)
- ・白岩川水系大岩川大岩2号砂防堰堤改築詳細設計業務(富山県立山土木事務所)



荒川上流水門設備
改良詳細設計業務



浜町陸間ゲート設備等更新
設計業務

農業土木計画設計

- ・成田用水施設改築事業高田支線改築実施設計業務(水資源機構成田用水事業所)
- ・牟呂松原頭首工耐震対策設計業務(水資源機構豊川用水総合事業部)
- ・婦中町長沢用水路・長沢農地災害実施設計業務(富山県富山市)
- ・農業集落排水事業最適整備構想改訂業務(富山県射水市)



牟呂松原頭首工
耐震対策設計業務



婦中町長沢用水路・長沢農地
災害実施設計業務

官民連携事業

- ・公民館等再整備事業PPP/PFI導入可能性調査業務(千葉県君津市)
- ・新学校給食センター整備・運営事業者選定アドバイザー等業務(大阪府河内長野市)
- ・学校給食センター等給食調理場のあり方検討業務(富山県富山市)

都市計画及び地方計画

- ・令和6年能登半島地震対応検証事業業務(富山県射水市)
- ・都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務(神奈川県三浦市)
- ・多摩センター地区まちづくり方針及び都市再生整備計画等策定業務(東京都多摩市)
- ・第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画策定支援業務(埼玉県鶴ヶ島市)
- ・総合計画・総合戦略策定支援業務(奈良県河合町)
- ・第3期小矢部市総合戦略策定支援業務(富山県小矢部市)

測量

- ・富山管内道路測量業務(国土交通省富山河川国道事務所)
- ・治山「カカ堂」測量業務(富山県新川農林振興センター)
- ・宇奈月ダム貯水池横断測量業務(国土交通省黒部河川事務所)
- ・富山海岸深浅測量業務(富山県富山土木センター)
- ・総合運動公園駐車場測量業務(富山県富山土木センター)
- ・地籍調査委託(道路公園管理課委託第4号)(東京都足立区)



治山「カカ堂」測量業務

補償コンサルタント

- ・能登復興事務所用地調査点検等技術業務(国土交通省能登復興事務所)
- ・能登復興事務所地盤変動影響調査業務(国土交通省能登復興事務所)
- ・本宮砂防堰堤用地調査等業務(国土交通省立山砂防事務所)
- ・尾添川水系砂防堰堤外多数権利者業務(国土交通省金沢河川国道事務所)
- ・北陸新幹線・福井市・敦賀市間建物日陰対策他(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)
- ・都市計画道路三日市新光寺線物件調査補償金等算定業務(富山県新川土木センター)

情報システム

- ・横浜市公園台帳管理システム再構築業務(神奈川県横浜市)
- ・道路パトロール業務ICT管理システムサービス(富山県土木部)
- ・道路維持管理システムサービス業務(静岡県熱海市)
- ・道路維持管理システム導入業務(奈良県奈良土木事務所)
- ・特定環境保全公共下水道維持管理情報データ作成及び管理システム構築業務(石川県宝達志水町)